

総合的な探究の時間の第1の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

新しい時代を主体的・創造的に生き、他者と協働して様々な課題に挑戦できる、起業家精神を持った、未来をつくる人財を育成する。

校訓 誠実 剛健 自主 創造

各学校で定める目標と育成する資質・能力

地域や社会との関わりを重視した探究活動を通して、技術者としての感性と確かな力を育み、知・徳・体のバランスが取れた地域の産業に貢献できる人財を育成する。

- (1) 地域社会に関わる探究活動を主体的に行うことによって、課題の発見と解決に必要な技術・技能の基礎となる知識を身につけようとする態度を養う。(知識・技能)
- (2) 地域社会と自己との関りから課題を発見し、情報収集・整理・分析し表現することによって、技術者としての創造性豊かな感性を育む。(思考力・判断力・表現力)
- (3) 地域社会に関わる探究課題について主体的・協働的に活動し、目的達成のために他者を尊重しつつ対話による深い学びと協働する姿勢を身に付ける。(学びに向かう力・人間性等)

総合的な探究の時間の学習評価

- ・授業担当者会議で学習活動の観点別評価基準を共有する。
- ・計画書、報告書、報告会や発表会でのプレゼンテーションにおける表現を評価対象とする。
- ・活動時間の振り返りや次回への目標や作業予定等を記入した日誌やポートフォリオ等を評価対象とする。
- ・作成した作品や資料を評価対象とする。
- ・活動状況や言語活動の記録による評価を加味する。
- ・地域社会との連携では、協力連携した外部関係者からの評価を加味する。

生徒の実態

- ・基本的生活習慣の確立
- ・生徒の多様化に対応した指導
- ・進路決定後の学習に対する意識の向上
- ・基礎学力の向上、資格取得の奨励
- ・部活動、生徒会活動のさらなる活性化
- ・生徒の活動の場のさらなる確保

生徒の発達をどのように支援するか
○配慮を必要とする生徒への指導

- ・学校全体による支援
- ・個別の指導計画を作成して指導する
- ・生徒一人一人にあった指導する
- ・生徒のニーズにあったカリキュラム
- ・生徒の実態や校内のリソースにあわせた学習支援

目指す生徒の姿

- ・主体的に学び、技術・技能の基礎となる知識を身につけようとする態度(知)
- ・目的達成のために、他者を尊重しつつ対話による深い学びと協働する姿勢(徳)
- ・社会生活を営む上で必要不可欠な健康の増進および体力の向上(体)

各学校が定める内容(目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力)

【1学年】

- ・多様な人や社会との関わりを考慮した自己表現
- (1) 社会には多様な文化や考え方・価値観があり、お互いに関わり合いながら生活していることを知る。(知識・技能)
- (2) 身近な事例から課題を発見し、情報収集や分析を行い、自分の考えをまとめ表現する。(思考力・判断力・表現力)
- (3) 異なる立場や考え方を持つ相手を理解することによって、自分を客観的に見つめ自己理解を深める。(学びに向かう姿勢、人間性)

【3学年】

- ・自己進路実現のための取組
- ・技術の発展や地域社会の変化に関する取組
- ・地域と連携した社会貢献に関する取組
- ・障がい者の学習を支援する取組
- (1) 社会の様々な状況を知り、ものづくりを通して技能・技術が向上する。(知識・技能)
- (2) 課題について多方面から情報収集を行い、課題解決のための手法を模索し、その過程や結果について様々な手段で表現する。
- (3) 探求を通して、社会の一員としての自覚を持ち、自己の在り方や将来に対する展望を構築する。(学びに向かう姿勢、人間性)

学習活動、指導方法等

【学習活動】

- ・1年生ではホームルームまたはグループでの研究、3年生ではグループまたは個人研究とする。
- ・奉仕体験や体験活動を行う。
- ・地域との連携を図り、幅広く情報収集や課題発見をする。
- ・学科の特性を生かした活動を行う。
- ・社会のニーズや最先端科学に基づいた課題にも取り組む。
- ・3学年の課題研究では1月に研究発表会を行う。また、内容によっては中間報告会を行う。
- ※活動の記録については、ワークシート等を活用する。

【指導方法】

- ・生徒の課題意識を発展させる支援
- ・主体的、意欲的な態度を引き出す指導
- ・それぞれの科の特性や、個に応じた指導の工夫
- ・地域を含めた情報収集への支援
- ・対話による個別支援
- ・様々な体験活動の充実
- ・グループ活動など協働的な学習活動の充実
- ・教科・科目等との関連性を意識した指導
- ・進路や将来の実生活に即した指導

指導体制(環境整備、家庭・地域との連携)

- ・学校運営委員会(月1回)…総合的な探求の時間の推進・運営・改善や校内の連絡調整を行う。
- ・学年会・工業科会(毎週)…授業担当者間での共通理解を図る。奉仕活動などを企画し運営する。外部講師による連絡・調整を行う。
- ・地域産業担い手委員会(随時)…地域企業との連絡調整を行う。地域企業の状況を把握し、情報提供する。
- ・インターンシップ担当者会(1・2学年含む)(随時)…受入企業約80社、日立市商工会議所と連携する。地域企業の状況を把握し、情報提供する。
- ・進路指導部…進路に関する情報を提供する。
- ・工業科…探究活動実践のための環境を整える。ものづくりマイスターとの連絡調整を行う。
- ・学年、各教科、工業科、道徳コーディネーター…新規採用者、転入者に対する支援を行う。